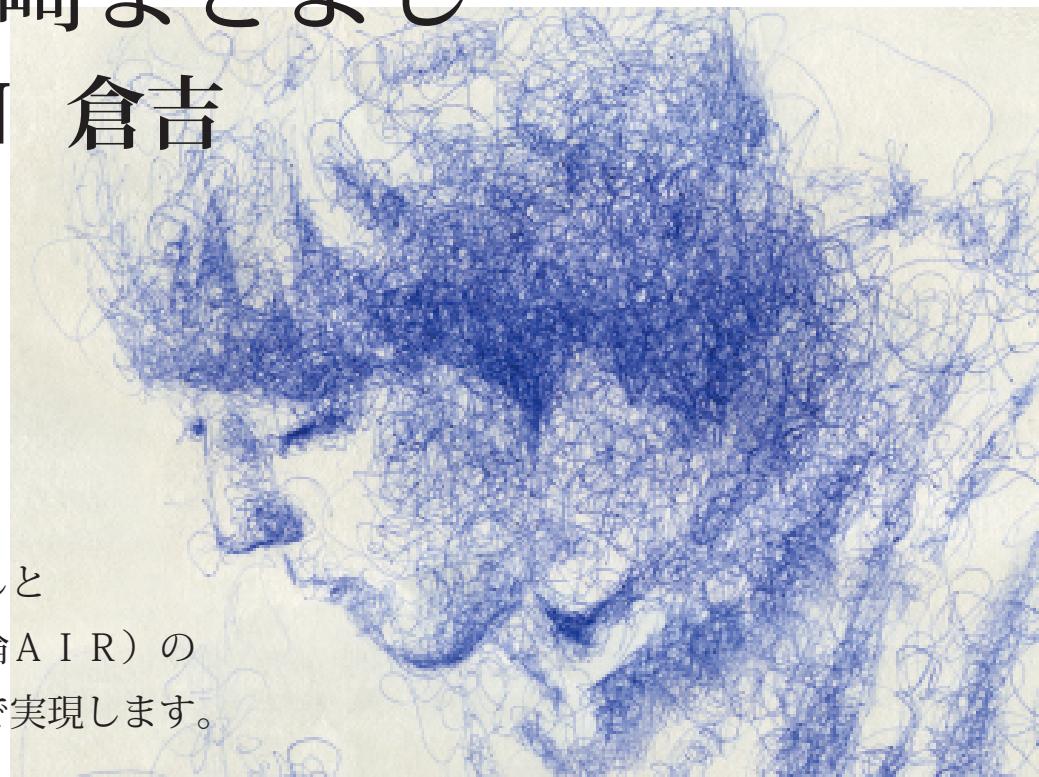


音のない山崎まさよし

MADE IN 倉吉

協賛金 募集

ミュージシャン山崎まさよしと
現代美術家・永本冬森（明倫AIR）の
コラボレーション展が倉吉で実現します。



山崎まさよしを描いた1冊の本

来年3月に倉吉未来中心での公演が決定したミュージシャン山崎まさよし。今から2年前、彼のデビュー20周年を記念し、『音のない山崎まさよし 20年間のことば』という本が出版されています。この作品は、山崎まさよしを「ことば」の表現者としてクローズアップし、彼の楽曲中の「ことば」と、彼を描いたポートレートでつづったART BOOKです。この作品を手掛けたのは、ボールペンで描く独特の作風で有名な現代美術家 永本冬森氏でした。

お問い合わせ
お申込み

山崎まさよしと倉吉を結ぶもの

実はこの本には、山崎まさよしと鳥取県倉吉市を結ぶエピソードがありました。永本氏は、2015年6月～8月にアーティスト・イン・レジデンス（以下AIR）にて倉吉市に滞在。市内明倫地区にアトリエを構え、『音のない山崎まさよし』の作品製作に取り組んでいました。そして、出来上がった作品を一冊一冊丁寧に製本化したのが、明倫地区のAIR活動に参加していた地域の人々でした。その作業には学生・主婦・シニア世代など幅広い層が参加し、本の完成に向け夜なべ仕事で尽力したそうです。

展覧会の実現に向けて

そして同じ年、大阪市梅田と神奈川県湘南市にてこの作品の展覧会が開催され、話題を呼びました。しかし、製作を行った倉吉市において、地域の人々が鑑賞できる機会は、現在に至るまで実現していません。そこで、来年3月の山崎まさよしコンサート倉吉公演を機に、製作の地・倉吉での展覧会開催を実現するため、皆様からの協賛金を募集します。

鳥取県立倉吉未来中心

このたびは 2018 年 3 月の山崎まさよしコンサート倉吉公演の開催に伴い、倉吉で生み出された作品やその製作過程、地域で取組まれている A I R 活動を多くの方にご覧いただきたいとの思いから、倉吉未来中心が企画したものです。また、今回 A I R 活動の一環として「山崎まさよしに伝えたい “ことば” B O O K」と題し、山崎まさよしさんへのメッセージや質問を地域の皆様から募集し、製本化したものを公演当日にご本人に進呈するという参加型プロジェクトも計画中です。これらの企画を成功させるためには、皆様からのご支援・ご協力が不可欠です。つきましては、この企画にご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

鳥取県立倉吉未来中心
館長 野崎 淳



永本冬森 Nagamoto Tomori (現代美術家)

1973 年生まれ。これまで 18 年間に渡りカナダ、アメリカを拠点に活動を行う。ボールペンによる独自の作風で一流企業やミュージシャンとのコラボレーションを多数展開。2015 年より日本での活動をスタートし、山崎まさよしとのコラボレーション展で日本を巡回する展覧会が話題となる。現在、山陰地方（鳥取・兵庫）をベースに製作活動を行っている。

明倫 A I R Meirin AIR

アーティスト（＝芸術家）が鳥取県倉吉市明倫地区に一定期間滞在し、住民との交流、地域資源の活用に取り組みながら作品制作を行うスタイルのアーティスト・イン・レジデンス事業。日頃、特に日本では公開される機会の少ない「アーティストが働く現場」「作品ができあがる過程」を訪問し、みたり、触れたり、またアーティストと直接話したりすることができるのが特徴。



■ 協賛方法

1. お申込み 協賛申込書に必要事項をご記入の上、倉吉未来中心にご提出ください。
2. お支払い 協賛申込受理書が到着後、指定口座へ協賛金をお納めください。

一口 20,000 円～

3. 協賛特典 御芳名記載（展示会チラシ、倉吉未来中心ホームページ）等

■ お問い合わせ・お申込み

鳥取県立倉吉未来中心

TEL 0858-23-5390

みらいアートギャラリー特別展
「音のない山崎まさよし MADE IN 倉吉」



企画概要

- 作品製作・監修 永本冬森
- 協力 N P O 法人明倫 N E X T 1 0 0
- スケジュール 2018 年 3 月実施
- 会場 鳥取県立倉吉未来中心
- 主催 (公財) 鳥取県文化振興財団

— 募集締切 —
2017 年
12/28 (木)